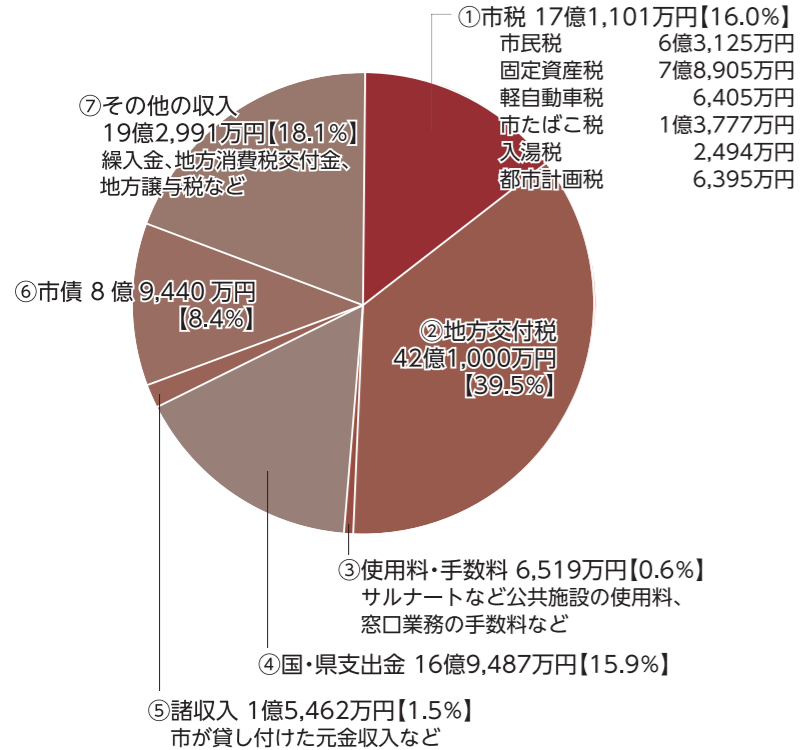


歳入

本市の歳入は、市税や使用料、寄付金などの自主財源と地方交付税や国・県支出金などの依存財源で構成されています。

【性質別】



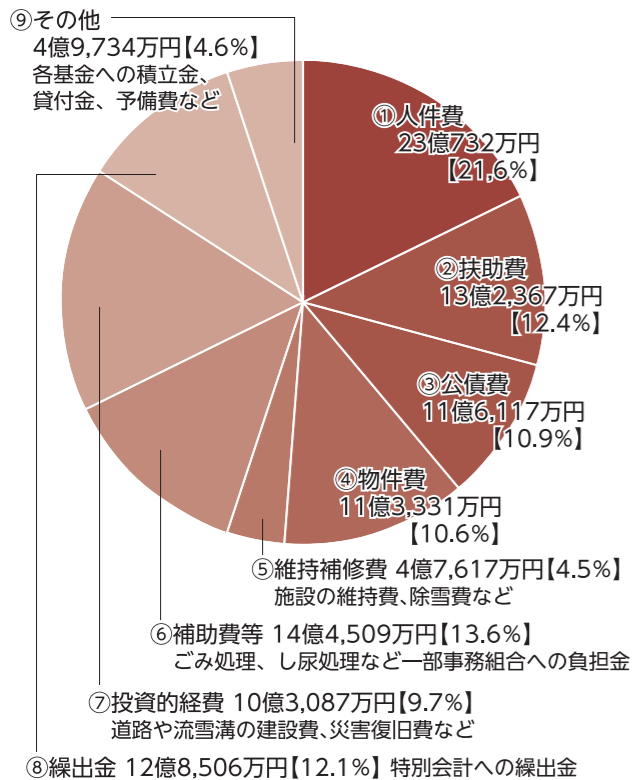
用語解説

- ◆市税…市民の皆様や市内に事務所がある企業から納めていただく市民税（法人市民税含む）や、建物や土地・償却資産の価格に応じて納めていただく固定資産税のほか、入湯税、軽自動車税、たばこ税などがあります。
- ◆地方交付税…全国の自治体が一定水準の行政サービスを提供することができるように国が交付するもので、使い道は限定されていません。
- ◆国・県支出金…国、県が使い道を特定して交付するものです。
- ◆市債…道路等の整備や防災行政無線の整備など、特定の行政サービスのために国や銀行などから借り入れる資金です。
- ◆人件費…市長、市議会議員、市職員などの給料や報酬です。
- ◆扶助費…生活に困っている人や、高齢者、障がい者の生活を守るための費用で、児童手当なども含まれます。

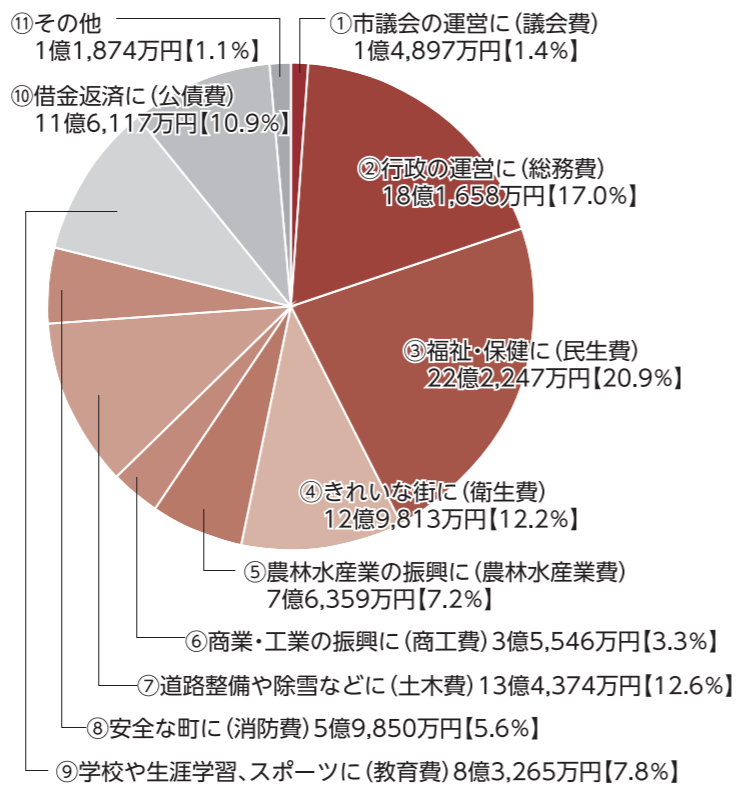
歳出

歳出予算の内容を、人件費や扶助費、投資的事業などの性質別に分けると以下ようになります。市の支出は、福祉や農林水産、商工、土木、教育などそれぞれの分野に分けて使われています。

【性質別】



【目的別】



尾花沢市 令和2年度 当初予算

一般会計予算 106億6,000万円

一般会計とは、市の基本的な行政サービスである福祉や教育、道路整備や除雪などを行うための予算です。

特別会計予算 49億8,077万円

特別会計とは、国民健康保険税や簡易水道の使用料などの収入を財源として、特定の行政サービスを行うための予算です。

区分	令和2年度 予 算	前年度との比較
一 般 会 計	106億6,000万円	▲ 7億7,500万円
特 別 会 計	国民健康保険	20億4,251万円 ▲ 5,777万円
	中央診療所	4億5,875万円 5,904万円
	簡易水道	2億6,308万円 3,028万円
	国営村山北部土地改良	55万円 0万円
	農業集落排水	8,501万円 1,726万円
	介護保険	19億2,933万円 2,237万円
	後期高齢者	2億154万円 1,671万円
合 計	156億4,077万円	▲ 6億8,711万円

尾花沢市全会計 156億4,077万円

令和2年度予算は、「元気おばなざわ創造プラン後期計画」及び「尾花沢市総合戦略」に基づき、人口減少問題に対応し、子育て支援を中心に、人にやさしくあったかい元気な尾花沢を実現するため、「安心して子育てできるまち」、「いつまでも元気に暮らせるまち」、「雪や災害に強いまち」、さらには「地域資源を生かした活力あるまち」など、時代が求める施策と本市の魅力や活力を生み出す施策に重点を置き予算を配分しました。また、令和元年10月に開催された「こども議会」で児童・生徒から提案のあった、「学校環境整備」と障がい者スポーツを体験するために名木沢生涯スポーツ交流センター（旧名木沢小）へボッチャの用具整備を行います。

子育て応援の一環として新たに子育て世代の負担軽減のため「病児病後児保育事業」を実施し、「小中学校の給食費に対する半額助成」「高校生年代までの医療費無償化」を継続します。

雪国でもずっと長く暮らせるよう「ふるさと暮らし応援事業」を強化し、高齢者の社会参加促進のため「高齢者おもしろタクシー事業」の拡充、高齢者の居場所づくりのため「宮沢地区地域福祉交流センター整備事業」を行い、いつまでも元気に暮らし続けられるまちづくりを目指します。

防災面においては、防災行政無線の難聴地域の解消に向けた個別受信機の貸与、除雪の雪押し場確保対策として集落補助を創設し、今後も雪や災害に強いまちづくりのため防災機能強化に努めます。

来年、築堤100年を迎える徳良湖に「モジュラーパントラック」を設置し、花畑の整備計画とレストラン徳良湖の改修を行いにぎわいを創出します。

1人当たりの予算額

福祉の充実 14万2,092円	道路等の整備 8万5,911円	教育の振興 5万3,235円	環境・保健 医療の向上 8万2,996円
消防・救急業務 3万8,265円	農・工・商・観 の振興 7万1,546円	市債の返済 7万4,239円	その他 議会の運営 防災対策室 13万3,257円

一般会計予算106億6,000万円を市民一人あたりに換算すると約**68万円**になります。

安心して健やかに暮らすための幅広い行政サービスにお金が使われています。